アクアスロンで釜石の支援を

北上市トライアスロン協会　理事
木内（きない）理加　さん

第25回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会
ゴール直後(７月17日開催・右が木内さん)

震災により開催が不可能となった釜石はまゆりトライアスロン国際大会。県内で唯一の大会を引き継ごうと、北上市トライアスロン協会は９月４日、北上しらゆりアクアスロン大会を開催します。理事の木内さんは、この機会に競技の楽しさを知ってほしいと呼びかけます。

アクアスロンとは、水泳とマラソンの２種目を行う複合競技。今回の大会では、展勝地プールとサイクリングロードが会場となります。

もともと運動はしてこなかった、とのこと。何かしたいと走ることを始め、釜石や秋田のトライアスロン大会に毎年出場するまでになりました。水泳は苦手なため、マラソンや自転車を担当し、仲間とリレーで出場。完走した後の達成感、仲間との交流があるから続けられるといいます。

出身は静岡県。「実家も海が近いので、釜石はとても好きなところ。現地へボランティアに行けずにいたので、この大会を通して自分なりに支援したい」と語ります。

審査員の資格を取ったものの、証書は受け取る直前に津波に流されてしまいました。それでも、釜石で再び大会ができるころには「泳ぎもマスターして３種目すべてを一人で完走できたらいいな」、と沿岸復興と自身のレベルアップを願っています。

国際交流ルーム発

ハロー！まいふれんど 129　ありがとう　セバスチャン！　そしてお元気で。

セバスチャン・ティアティーニさん

市内の幼・小・中学校で７年間、英語指導をしていたセバスチャンは、この８月で任期を終え、韓国の公立小･中学校の英語教師として新天地に旅立ちました。

英語教師だけでなく、国際交流ルームの活動にも積極的に参加。特にEnglish Park(小学生向け英会話)などで講師を務め、とても楽しいクラスでした。

「北上は山や川など自然豊かだし、安全なまちですっかり気に入り、北上の人々はとても親切でこれからもずっと忘れない、『心の故郷』のように感じています」とメッセージをいただきました。将来の夢は自分の祖先のルーツであるヨーロッパで家族と暮らすことだそうです。

常にグローバルな視点を持って生活することの大切さを再認識しました。Bon Voyage!（よい旅を！）

文楽のワークショップでは率先して人形遣いを体験し、日本の文化に触れました

□■□■□■ 国際交流ルーム ■□■□■□
電話・ファクス：63-4497
電子メール：kiah@kitakami.ne.jp
おでんせプラザぐろーぶ３階　生涯学習センター内
開館日：毎週月-土曜日　午後１時-７時
休館日：日曜・祝日、第３水曜日、年末年始

20th 市制20周年

北上市民の歌

きらめいて

作詞　谷川　俊太郎
作曲　三善　晃

限りない歴史貫き
北上と和賀の流れは
ゆったりと心を洗う
よみがえる四季の祭りに
新しい技とたくみに
明日を望む私たちのまち北上

果てしない宇宙旅して
みちのくの今日の光は
きらめいて川面に遊ぶ
山なみを越える世界を
うたびととともに夢見て
未来を願う私たちのまち北上

北上市民の歌は平成４年３月25日に制定されました。題は「きらめいて」で、作詞は詩人の谷川俊太郎氏、作曲は谷川氏の推薦もあって、当時、桐朋学園大学長を勤めていた作曲家の三善晃氏です。

市が二人に「明るくさわやかで」「分かりやすく親しみやすい感覚で」と依頼したとおり、やさしい言葉を使ったスケールの大きな詩に、流れるようなメロディーラインが耳に残る、新市にふさわしい歌となりました。

同年５月２日に旧市民会館大ホールで開かれた市民の歌発表会で、招待された谷川氏は「詩歌のまちを『うたびと』に、工業都市を『技とたくみ』に表現するなど言葉を選ぶのに苦労しました」とあいさつ。また、三善氏は「詩に触発され３時間ほどで曲ができました」とエピソードを語り、最後は「生まれたばかりの市民の歌を育てるのは、皆さんが歌い継ぐこと」と、自ら大合唱の指揮をとりました(『広報きたかみ第29号(平成４年５月15日発行)』より)。

市民の歌は、市役所各庁舎で業務開始と終了時にチャイムでメロディーを流しているほか、市内のコーラスグループなどで合唱曲として歌われています。

市民の歌を聞きたい人や歌いたい人は、ＣＤ(コンパクトディスク)をお貸ししますので、地域づくり課 内線 3246へお申し込みください。

中央図書館☎63－3359
江釣子図書館☎77－2215
和賀図書館☎72－2322

話題の本

《8月の新着本から》

▼一般書

ジュージュー	よしもと　ばなな
「こつこつ」と生きています	岸本　葉子
なぎさホテル	伊集院　静
天上紅蓮	渡辺　淳一
宮城県気仙沼ファイト新聞	ファイト新聞社
ＦＢＩ美術捜査官	ロバート・Ｋ・ウイットマン　ジョン・シフマン

▼児童書

かいけつゾロリのはちゃめちゃテレビ局	原　ゆたか
かぼちゃんのひっこし	高山　栄子
遠く不思議な夏	斉藤　洋
宇宙少年	野口　聡一
なぜダンゴムシはまるまるの？	講談社
きみたちにおくるうた	バラク・オバマ

《おすすめ新着本》

『化合』

今野　敏　著
講談社

事件のスピード解決をめざすエリート検事。そのやり方に疑問を呈する捜査本部の若き刑事。体制にあらがい、刑事の誇りを捨てることなく事件を解決できるのか…。

『オトタケ先生の３つの授業』

乙武　洋匡　著
講談社

「五体不満足」の著者が小学校の先生として行った授業をもとにした３つのものがたり。

《9月のイベント情報》

■おはなし会

９月11日(日)　午前11時～11時30分　中央図書館
９月25日(日)　午前11時～11時30分　和賀図書館

■こども映画会

９月４日(日)　午後０時30分～１時30分
みちのく民俗村・旧菅野家住宅
上映作品　まんが日本むかしばなし